

## 新着情報

- 2018年度 中学入試よりWeb出願を導入。
- 2018年度 高校入学生から1人1台iPadを所持し、個別学習やポートフォリオとして活用。
- 高校1年生は英数で習熟度展開、高校2年生からは理系で難関大、研究医療系を想定したMRコース(単独クラス)、地方国立大学を想定した理系Gコースを設置。文系は英数国で習熟度、それ以外の科目は目的別に編成されており、新入試に柔軟に対応できる自由カリキュラムを展開。また、2019年度より5・6年で完成させる「探究」がスタートし、来年度卒業時には研究論文を完成させる。

## 入試結果

	募集定員	受験者数	合格者数	補欠	倍率	入学者数
2018年度	200名	519名	443名	若干名	1.17倍	151名
2019年度	200名	526名	413名	若干名	1.27倍	124名
2020年度	200名	592名	512名	若干名	1.15倍	147名

2020年度入試平均点	
算数	62.0点
国語	47.0点
理科	61.0点
社会	57.9点
4科合計	227.9点

- 募集定員数はなぎさ公園小学校出身生徒数を含む。他の数字は含まない。
- 2020年度合格最低点:180点

## 2021年度募集要項

### ◆【募集定員】200名

- <試験日> 1月19日(火)
- <合格発表> 1月21日(木)12:00ごろホームページから合否確認ができます。本人へ合否通知を郵送にて発送する。
- <試験科目> 国語・算数・理科・社会・作文(専願受験者のみ)

- <時間> 国語55分、算数・理科・社会45分・作文30分(専願受験者のみ)
- <配点> 各100点
- ※Web出願とします(詳細は募集要項にて)

## 学校情報

### ●教育内容について

- 1994年の教育改革以来、「21世紀型高学力の養成」・「国際性の涵養」・「創造力の錬磨」・「人間力の育成」を教育目標として掲げ、常に生徒の10年後20年後に必要な教育を作り続けている。他校に見られない新しいスタイルの学びと指導を導入し、追求している。

### ●学習指導について

- 確かな学力と、国際性と創造力を身に付けることを目指す。公立中学校に比べ、国語・数学・英語の学習単位を大幅に増やし、内容もかなり充実させている。
- 中1・2では「コ」の字型に机を配置し、生徒同士のコミュニケーションやディスカッションを引き出すよう工夫している。

### ●独自教科について

- 中学1・2年の英語では、ネイティブ教員が週2時間を担当し、本物の英語に触れる機会が多い。また、日本人教員で担当する4時間は、ラウンド制に基づいた授業を展開。ネイティブ教員と日本人教員が協同して五感で英語を感じる力を育て、英語の語感を育てる。高1で英検2級取得を目標とする。
- 私学独自の人間教育は、広島なぎさ中学校が独自に開発したオリジナル科目(人間・創造国際)で具体的に展開されている。体験型の自然体験活動(八千代キャンパスでの合宿など)、特色教育については全国の学校からも高く評価されている。

### ●交換留学について

- 中学2年生でニュージーランドのパサデナ中学校、中学校3年生でタイのカセサート大学付属学校との交換留学を行う。それぞれ、2週間程度のプログラムでお互いの家にホームステイをする。学年全体で交流するので、学年全体に国際性がしみわたっていくプログラムである。

### ●専願について

- 専願受験で合格の場合は必ず入学すること。専願受験の合格ラインは多少下がる。

- 専願受験の場合は「専願受験申込書」を提出する。内容は、広島なぎさ中学校の教育に対する考え方、広島なぎさ中学校の志望理由について。
- 試験終了後の作文は、「テーマに対する設問形式の作文」を実施。内容は、①地方新聞のコラム等から内容理解や自分の意見や考えを問うものでB4サイズの問題用紙に横書きで8～10行程度。②「広島なぎさ中学校でどのような学校生活を送りたいか」などの設問により入学の意志を問うもので、①と同様で8～10行程度。①と②をあわせて30分。
- 2020年度専願入試:入学者のうち男子27.4%、女子67.9%が専願受験者。

### ●合格発表について

- 2021年度入試では、1月21日(木)12:00～ホームページで各自の合否発表を確認できます。

### ●帰国生徒について

- 試験日は同じ。試験科目は国語・算数・作文・面接。
- 2020年度は受験1名。

### ●特待生について

- 入試において、人物、学力ともに優秀と認められた者は、特待生として採用される。

### ●なぎさ公園小学校との連携について

- 中学1年から内部進学者と混合クラス。

### ●出題傾向について

- 各科目とも、基礎から応用まで幅広く出題されるが、特に基礎力が必要。「論理的な思考」を問う問題を出題している。
- 身近な話題や社会問題などが題材として出題されることもあるので冷静な対処が必要。
- 各教科平均点を60点～65点に設定して作問を実施。

## クラブ活動

- 体育系 陸上/(柔道)/(剣道)/バスケットボール/バドミントン/サッカー/(バレーボール)/卓球/(水泳)/軟式野球/硬式テニス/(馬術)/バトン/ハイキング/スポーツチャンバラ ( )は高校のみ
- 文化系 国際/美術/科学/調理/茶道/華道/書道/管弦楽/合唱/放送/英会話/囲碁/将棋/クイズ/検定/ボランティア部

## 進路実績

大学の合格実績については、現役生・過年度生の合計人数。( )内は、過年度生の内数。

	難関国立大	広島大	国公立合計	国公立私立大医学部医学科	早慶上理ICU	明青立法中	関関同立	私大合計	海外
2018年度	11名(1)	17名(5)	69名(13)	6名(4)	22名(4)	16名(7)	50名(11)	337名(79)	5名(0)
2019年度	8名(0)	16名(1)	61名(12)	13名(13)	18名(2)	19名(4)	76名(23)	384名(61)	6名(0)
2020年度	7名(4)	9名(3)	55名(13)	16名(13)	14名(5)	21名(10)	59名(25)	406名(102)	0名(0)